

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 H29年度

法人名	株式会社 六匠	代表者	北村 拓人	法人・事業所の特徴	「一人ひとりの笑顔・思い・願いを大切に安心して暮らせる場所を地域で築きます」「継続的に支え合い助け合うことで、ささいなことや気持ちの変化を見逃さず、心に届くサービスを提供します」を理念としています。「ひもときシート」を活用し、職員全員で利用者のひもときシートを作成し、職員全員が利用者の思いや暮らし方の希望、意向を把握できるように努力しています。
事業所名	時間の奏	管理者	内貴 文之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	1人	1人	人	2人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・質問を、さらにわかりやすく、改善する。 ・回答しやすい質問にする ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり改善できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1回ではどう答えてよいか分からなかった。見学日を作ってはどうか？ ・職員のアンケートと連動をしっかりとしてみてもいいか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き質問をわかりやすく改善する。 ・見学の機会を設ける。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・インターホン近くにプレートを貼ってみる。 ・椅子などを心地よい物に交換できるか考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターホンの横にプレートを貼りました。 ・椅子はそのまま、クッションを試してみた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心地いい音楽を指向性スピーカー等で流してみてもいいか？ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に、フロアに音楽を鳴らしてみよう。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会に施設としてお役に立てることがあれば、という意思表示や声掛けを続ける。 ・今まで通り、行事に参加する。 ・地域の方が参加できる行事を考えていく（年1回は） 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで通り、地域の行事には、参加できた。 ・太鼓の演奏など、地域の方にチラシを配ったりした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の地蔵盆のお供え等、積極的に地域に食い込んで行ってはどうか？ ・例えば、近くの商業施設のように、新幹線が見えるとか、何か目当てになるものを考えてはどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 地蔵盆やお祭りに参加できるよう、まずは、前回より1回でもいいので、自治会の方々と関わる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・相談者の連絡先やお話もきいて、地域包括支援センターから、お伺いできるような繋げ方をする。 ・参加出来そうな行事をさがす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談者は来なかった。 ・車椅子の利用者様の運動で、身体障害者のサークルなどを探し、FAに提案した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部のサークルに参加をする際、職員の補助の仕方によれば、もっと楽しめるのではないかな？ 	<ul style="list-style-type: none"> 外部のサークルにも、積極的に参加しよう。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス推進会議で全職員に、運営推進会議の内容を伝えるように工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり伝えられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすい場所に掲示するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 見やすい場所に掲示します。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のハザードマップを元に、具体的な避難マニュアルをつくる。 ・定期的に防災計画の周知研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の避難訓練には参加している。 ・ハザードマップを元に、避難マニュアルを掲示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・奏の消防避難訓練に運営会議出席メンバーも参加してはどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 奏の避難訓練に、まずは、運営推進会議メンバーに参加していただくようにする

